

令和7年度 グランドデザイン(戦略マップ) 一宮市立浅野小学校

◎学校教育目標

夢や希望をもち、
心豊かでたくましく
自ら学ぶ浅野の子

◎めざす子ども像



◎取り組みの重点



子どもに寄り添い、共に学ぶ教師

地域・家庭と共に歩む学校

「子どもを主体とした」授業づくり・活動づくり
 発達段階に応じた学級・学年経営に重点をおき職員の研究と修養を充実させ、お互いの悩みや課題を協力して解決していける職員集団の形成
 ○学年経営・不登校支援・いじめ対応などチームで迅速に行う。
 ・教科担任制 ・学年集会 ・不登校・いじめ対策委員会を増やす
 ○「授業を見合う場」を大切に、学年で指導案を作り上げることに
 より、お互いに学び合う機会を設定
 ○専門性を生かして、「児童のよさ」を引き出す指導法について学び合う機会を設定
 ○児童の「多様性」を認め、児童に寄り添い支援するための態度や方法について学び合う
 ○学校行事を保護者や地域と協力しながら作り上げることで、みんなで子どもを育てるという意識を醸成する。

◇自由参加型ボランティアの導入
 ・各種ボランティア（授業支援・環境整備・情操教育）
 ◇地域人材の活用
 ・様々な分野で活躍している方からの講話（キャリア教育）
 ・浅野の地の歴史的背景についての講話（郷土学習）
 ・スポーツ選手などの招待
 浅野の地ならではの地域理解
 ・つつじ祭への作品の出展や参加
 ・芝馬祭への参加
 ・町民運動会への参加
 ・浅野公園の清掃活動
 ◇教育活動の発信
 ・学校・学年・学級便り
 ・授業公開、
 ・ホームページ

◎全校研究テーマ

「わかる」「できる」が実感できる主体的に学ぶ児童の育成
 —— 児童の「思い」や「考え」を生かした授業づくりを通して ——

◎取り組みの具体

※南部中学校との連携を深め、「学習ルール6か条」のもと学習をすすめる。

○各教科

(1) 基礎学力の向上を図る。

手だて
 ・基礎的・基本的な知識・技能について、繰り返し練習し、習得する場を設定する。
 ・計算、漢字について重点的に練習する時間を設ける。

(2) 教師の授業力の向上を図る。

手だて
 ・学年で研究授業に向けて、授業研究をすすめる。言語活動を計画的に取り入れる内容とし、検討会での視点に活用する。

(3) 言語活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力を育てる。

手だて
 ・学習を見通したりまとめたりする活動の中に、言語活動を計画的に取り入れる。
 ・話し手が伝えたいことは何かを意識しながら聞くことができるようにするために、ペア・グループ活動を取り入れる。
 ・ペアやグループ活動を取り入れることで、自己の考えを広げ、まとめる場を設定する。
 ・学習内容をより深く理解させるために、自分の考えを全体に発表する場を設定する。
 ・授業の終末には、学習の振り返りの時間を確保する。